※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　日本語科

教科	（学）日本語	科目	（学）日本語IVB	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語ⅢB の継続で、読む、書く、話す練習を繰り返し行い、正しい日本語を身につけましょう。 個別対応で学習します。

2　学習の到達目標

動詞や形容詞などを用いた日本語の知識や技能を身につける。 動詞や形容詞などを用いた日本語で自分のことを表現することができる。 動詞や形容詞などを用いた日本語を用いて積極的に話したり書いたりする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実際に日本語を用いた言語活動を通して、動詞や形容詞、会話文についてさらに理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	情報を整理しながら考えなどを形成し、日本語で表現したり、伝えたりする。論理的に適切な日本語で表現することができる。	自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した日本語を用いて自身の考えをうまく伝えようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	動詞	動詞についての学習	a:学習した内容を用いて実際に応用的な日本語を用いた言語活動を通して、動詞について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、応用的な日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した応用的な日本語を用いて自身の考えを伝えようとする。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題
2学期	形容詞	形容詞についての学習	a:学習した内容を用いて実際に応用的な日本語を用いた言語活動を通して、形容詞について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、応用的な日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した応用的な日本語を用いて自身の考えを伝えようとする。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	会話文	会話文(感想をのべる)についての学習	a:学習した内容を用いて実際に応用的な日本語を用いた言語活動を通して、感想文について理解することができる。実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、感想文の形式で応用的な日本語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した応用的な日本語を用いて自身の考えを感想文の形式で伝えようとする。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度